

# あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌

2015年新春号(年4回発行)

今年もよろしくお願ひします。



## 新年の挨拶

理事長 小市 勝之

皆様方には新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、当院を信頼し利用していただきました多くの患者さんに感謝申し上げます。また開業医の先生方や救急隊の方々、さらには介護施設、療養施設の方々など多くの方々のご協力のおかげで、患者さんへの切れ目ない医療が提供できますこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

今年は乙未の年です。羊といえば思い浮かぶのは暖かいウールの洋服、ジンギスカンなどでしょうか。私自身は羊自体をあまり身近に見た記憶はありませんが、従順な動物であり、のどかな風景が連想されます。今年も干支にちなんで平和で穏やかな年になってほしいと思います。ところが昨今の病院や医療を取り巻く状況は、高齢化社会が進行するなかで、将来の社会保障体制を確保していくなければなりません。これからさらに厳しくなることはあっても、羊のように、前途洋洋だなどとのんびりと構えているわけにはいかないようです。病院はその時々で最適な医療を、今後ますます公正で効率よく提供できるように努力しなければなりません。また、その為にもこれからさらに、地域の方々との有機的なつながりを大切に築いていかなければならぬと考えています。私は、ある意味、羊を反面教師として主体性を持って行動していきたいと思っています。

さて、マザーテレサは「たとえ、人生の99%が不幸であったとしても、最後の1%が幸せならば、その人生は幸せなものに変わる」と語り、最後の瞬間を安らいで気持ちで過ごしてもらうよう手厚く介護したそうです。人生の最後を如何に過ごすかということは、誰にとっても、とても大きな課題です。私どもは、どうすれば患者さんが幸せであるか、何ができるのかを想いながら、日々の診療にあたりたいと思います。そして今後、社会がどのように変化していくとも、大切なことを忘れないようにしなければと考えています。皆様、今年もよろしくお願ひいたします。



### 病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

### 病院の方針

- 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
- 患者の皆様にやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
- インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
- 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
- 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

Pick UP!

## 診療科トピックス 耳鼻咽喉科

# 花粉症の治療

耳鼻咽喉科 医長 山本 純平

環境省、日本気象協会等の平成27年度スギ花粉飛散予測では北陸地方の飛散量は昨年よりも増加し、例年並み、飛散開始日は2月下旬頃と予測されています。

今回、花粉症の治療についていくつかご紹介させて頂きます。



## 1 薬物療法

花粉症に対する内服薬だけでも治療の選択肢は多くあり、ライフスタイルに応じて治療薬を選択し、また、症状に応じて併用する場合もあります。

鼻アレルギー診療ガイドラインには

・抗ヒスタミン薬 ・抗ロイコトリエン薬 ・鼻噴霧用ステロイド薬  
等が挙げられています。

程度の違いはありますが、抗ヒスタミン薬の副作用として眠気を伴うものが多くあります。内服した後で自動車の運転を行なう場合には避けるべき薬剤もあり、医師と相談するのが良いでしょう。

また、中等症、重症な症例で特に鼻閉症状が強い場合には抗ロイコトリエン薬が有効であり、他剤と併用して用いられます。

鼻噴霧用ステロイド薬は、局所療法であり、他の内服薬に比べて効果が劣るように心配される患者さんもいますが、有効性は高く、単独の使用でも内服薬と同等、それ以上の改善効果があるといわれています。また、1日1回の使用でも効果が持続し、最近では小児でも適応される薬剤が増えています。

## 2 外科的治療

くしゃみ、鼻漏等は薬物療法で改善する場合が多く、外科的治療は主に薬物療法で改善が乏しい鼻閉症状を対象としています。

### ・レーザー手術

外来での日帰り手術が可能です。レーザーによって肥厚した下鼻甲介粘膜を縮小、変調させることで鼻閉以外にもくしゃみ、鼻漏に対しても有効ですが、治療効果は2~3年程度といわれています。

### ・下鼻甲介減量手術（粘膜下下鼻甲介骨切除術等）

肥厚した下鼻甲介を外科的に減量する手術ですが、粘膜を損傷すると、痂皮（カサブタ）の付着が多く、創傷治癒が遷延するため、粘膜下の組織や、骨を切除する事で、下鼻甲介の減量を行います。入院、全身麻酔手術が必要となります。治療効果は長期間継続します。



## 3 舌下免疫療法

病因アレルゲン（スギ花粉エキス）を舌下投与することで、アレルゲンに曝露された場合に引き起こされる関連症状を緩和する治療法（減感作療法）です。他の治療法はアレルギー反応による症状を軽減することを目的としていますが、本治療法は体質を改善することで症状の改善や、対症療法の薬物の使用量を減らす事が期待できます。

現在対象となっているのはスギ花粉症のみであり、他の花粉、アレルゲンに反応が強い場合や、通年性のアレルギーの患者さんには適用できません。

また、治療は3~5年、毎日継続する必要性があり、即効性はなく、スギ花粉飛散時期は治療開始ができません。

上記の治療法だけでなく、花粉情報に注意し、花粉飛散の多いときに外出を控えたり、マスク、メガネを使用したり、帰宅時に衣類、頭髪等を払って入室する等の、花粉との接触を回避する方法も自身で可能な有効な花粉症対策といえます。

# 連携登録医のご紹介

今回は、金沢市小坂町の『横浜外科整形外科医院』をご紹介いたします。

当院は、浅ノ川総合病院より300mほど北の森本方面山側に位置しております。

診療は、私(横浜 安生:金沢大医卒、金大整形外科入局後、関連病院の石川県中、富山県中、公立松任中央病院を経て開業)が整形外科、リウマチ科、リハビリ科を主に担当しております。

検査ではOpen型MRI、CTを備え、診断の向上に努めてきました。

浅ノ川総合病院さんには、高齢者に多い大腿骨頸部骨折の患者さんで入院手術が必要な時には以前からお世話になっておりましたが、最近では整形外科領域にかかわらず、午後からでも快く紹介患者や夜間救急患者を診ていただき、大変助かっております。

これからもよろしくお願い申し上げます。

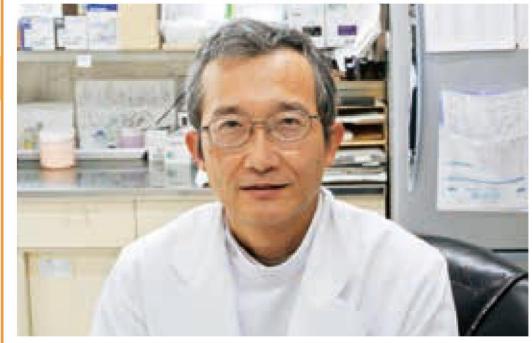
## Open型MRI装置



医院外観

## 連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



【院長 横浜 安生 先生】

## 横浜外科整形外科医院

院長: 横浜 安生

診療科: 整形外科、リウマチ科、リハビリ科  
消化器科、外科、肛門科、脳神経外科  
麻酔科

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	/
14:00~18:00	○	○	○	○	○	/	/

休診日: 土曜午後、日曜、祝日

住所: 〒920-0811

石川県金沢市小坂町北 195-2

電話: 076-251-1500

駐車場: あり



## 部門紹介 放射線部

放射線部では、各科との連携のもと、診断・治療に必要な画像情報の提供を行う「画像診断」や、がん治療の柱の1つである“切らずに治す”治療を行う「放射線治療」を行っています。両者とも専門のスタッフを配置し、患者さんに優しく、患者さんが安心できる検査・治療を目指して組織的に取り組んでいます。



放射線と画像の専門家 診療放射線技師の

### お仕事図鑑

診療放射線技師とはあまり知られていない職種ですが、どんな仕事をしているかご存知ですか？その一部をここに紹介します。

#### MRI



MRIとは磁気・共鳴・画像の略で、MRIの特徴は磁気と電波を使用して人体の横断像だけでなく、縦断像や斜めに切った像などあらゆる方向の断層面の撮影が容易にできます。当院では従来からある1.5テスラMRIと3.0テスラMRIを使用しています。

#### CT



頭部、胸部、腹部など全身の断面を撮影する検査で、X線とコンピュータを使用し、病気の状態、大きさ、形態などを見ることができます。当院で使用しているCT装置の320列CTは、血流や臓器などの動態情報を広範囲に観察することが可能です。

#### 血管検査(造影)



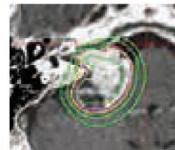
カテーテルという細い管を動脈または静脈に直接挿入し、目的の部位まで進め、造影剤を注入しながら撮影します。血管造影検査は、脳や心臓、肝臓、腎臓、肺、四肢などの血管の状態が観察できるだけでなく、治療を目的とする場合もあります。

#### ノバリス



X線というメスを用いて病変を治療する高精度放射線治療専用に開発された世界最高の治療装置です。頭部から体幹部まで卓越した効果が実証され、欧米を中心に約100台が導入され、当院では、平成16年に日本第1号機を導入し、稼動しています。

#### ガンマナイフ



開頭手術を行わず、外から放射線を必要な部位にのみ集中して照射することで、頭の病変を治療する画期的な装置です。世界中の国々で数十年にわたる治療経験と追跡調査によって、ガンマナイフの有効性と安全性は比類なきものとされています。

#### PET-CT



PETでは放射性薬剤を体内に注入し、放出される放射線を画像化し、全身を一度に検査出来ます。通常がんや炎症病巣を調べたり、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定、再発の診断などに利用されています。

当院は定位放射線機器  
「ガンマナイフ」と「ノバリス」を  
併せ持つ世界有数の施設で、  
年間約550例の  
治療を行っています。



当院は平成17年に  
PET-CT装置導入以来  
10,000件を超える検査を行い、  
早期発見、早期治療に  
努めています。



## 部員資格・認定取得一覧

私たちの仕事は想像できないほど多種多様で、高度な知識と技術が必要とされています。放射線部では、1技師1つ以上の各種資格・認定等の取得を推奨しており、個々の技師が互いに切磋琢磨しています。

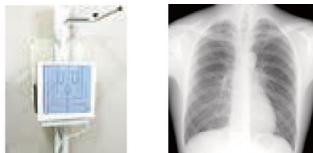


- 磁気共鳴(MR)専門技術者(日本磁気共鳴専門技術者認定機構)
- 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師(日本乳がん検診精度管理中央機構)
- 放射線機器管理士(日本放射線技師会認定)
- 放射線管理士(日本放射線技師会認定)
- 医療画像情報精度管理士(日本放射線技師会認定)
- 放射線治療専門放射線技師(日本放射線治療専門放射線技師認定機構)
- 放射線治療品質管理士(放射線治療品質管理機構)
- 医用画像情報専門技師(日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構)
- 医療情報技師(日本医療情報学会)
- 超音波検査士(日本超音波医学会)
- 医学物理士(医学物理士認定機構)
- 第一種放射線取扱主任者(国家試験)

マンモグラフィや乳腺の超音波検査は女性技師が担当しています



### 一般X線撮影



X線単純撮影は症状に応じて第一に行われる検査です。X線を使用して胸部・腹部・骨などの撮影を行い、デジタルX線画像診断システムを用いて撮影データをコンピュータ処理することにより高画質な画像を提供します。

### マンモグラフィ



乳房にあるシコリや微小石灰化などを調べるための検査で、早期段階での発見も可能です。乳房撮影では乳房圧迫板で強く挟む必要があるため痛みを伴うことがあります。検査時間は10分程度です。撮影は女性技師が行いますのでご安心ください。

### 超音波 US



体の表面から超音波をあてて、体内の組織にぶつかって跳ね返ってきた反射波を画像化して診断する検査です。エコー検査またはUSとも言われます。痛みはほとんどなく放射線も利用しないので、何度も繰り返し行うことができる検査です。



### 消化管造影検査



一般的に胃透視と呼ばれ、バリウムという白い液体を飲みながら胃や十二指腸の状態を撮影します。その他に小腸造影、大腸造影、泌尿器検査、関節造影、脊髄造影、胆嚢造影、膀胱造影、腎孟造影、子宮卵管造影、唾液腺造影もあります。

### 核医学検査 RI



RI検査は体内に極微量の放射線を放出する薬剤を注射し、体内からの放射線を検出し画像化することで病巣や臓器の状態を調べることができます。投与された薬剤は速やかに体の外に排出され、人体にはほとんど影響ありません。



### 骨密度(DEXA)



骨密度とはX線を利用して身体の骨塩量(塩分やカルシウム)を測定する検査です。骨密度を測定し骨の強度を知ることにより骨粗鬆症を予防します。骨塩は35歳をピークに徐々に減っていきます。自分の骨密度を把握しておくことも大切です。

## 地域の中核をめざして 安心・安全な医療

放射線部 部長 飯田 融

放射線部では各科と放射線技師の連携のもと、早期診断、早期治療に役立つ正確な画像診断・治療に力をいれています。「PET-CT」、「3テスラMRI」、「ガンマナイフ」、「ノバリス」、「320列CT」などの最新鋭の検査機器、治療機器を導入し、患者さんに最新の医療技術でより安全に、そして最善を尽くした医療の提供に努め、地域の医療機関の先生方からの検査・治療依頼にも迅速に対応できるよう心がけています。

## がん性疼痛看護認定看護師に聞きました！

### Q1：「がん性疼痛看護認定看護師」について教えてください

A：現在、2人に1人の割合でがんに罹り、その中の80%の人が痛みを経験すると言われています。痛みのために日常生活に支障をきたし「自分らしい生活」を送ることが出来なくなってしまう患者さんは多くいます。痛みは、適切な痛み治療を行う事で80%の患者さんの痛みを軽減することが出来ます。

がん性疼痛看護認定看護師は、痛みの総合的な評価と個別的ケア、薬剤の適切な使用および疼痛緩和についての専門的な知識や技術を用いて看護を実践していきます。また、実践だけでなく、役割モデルとなり、看護スタッフへの指導や看護スタッフからの相談に対応するという役割があります。



かとう  
本館7階 加藤 あゆみ 看護師

### Q2：どのような活動をしていますか

A：現在勤務している病棟にはがん患者さんも多く入院されてきます。がんによる痛みがあり、鎮痛薬、特に医療用麻薬を使用している患者さんや、疼痛コントロールが十分ではないと考えられる患者さんとご家族のもとへお話を伺いに行くようになります。そしてそこで得た情報や評価したことについて病棟看護師に伝え、共有し、日々の看護を実践しています。また適切な薬剤の選択に繋がるよう主治医や病棟薬剤師への報告や相談も行うようにしています。

院内の多職種から構成される緩和ケアチームとしては、週に1回チームとして介入している患者さんの回診を行っています。緩和ケア委員会では、委員会内で事例検討会や勉強会を行っています。勉強会は勤務する病棟でも行っていますが、他の病棟からの依頼も受けて行っています。

### Q3：やりがいや苦労話などがあれば教えてください

A：痛みがあり、その苦痛のためにこの先のことが考えられなくなっていた患者さんが、痛みのコントロールが図れたことで、今後自分がどう過ごしたいか、何をしたいのかを考えられるようになり、それらのことについて語ってくれた時にやりがいを感じます。また、痛みを訴える患者さんのそばで過ごしているご家族は、共に痛みを感じ苦しんでいます。ご家族から痛みで苦しむ様子がなく良かったという声を聞いた時には、患者さんだけでなくご家族の痛みも緩和できたのではないかなど思い、やりがいを感じます。

## 行事レポート

### 「第6回おんな川病診連携の会」開催

地域の医療機関、浅ノ川病院グループ間の“顔の見える連携”を推進するため、平成27年1月23日(金)金沢都ホテルにて「第6回おんな川病診連携の会」を開催しました。地域の病院やクリニック、施設等、浅ノ川病院グループの職員含め約130名の参加を賜り、盛況な会となりました。

「症例から救急医療を考える」と題し、当院外科 高田智司医師、脳神経外科 筒井泰史医師、金沢循環器病院 循環器内科 蒲生忠継医師が症例発表を行い、症例から地域をとりまく救急医療について討議を行いました。

特別講演は金沢大学附属病院 脳神経外科 教授 中田光俊医師より「脳神経外科医療の未来」と題し、脳神経外科の最新の話題、今後の展望について講演されました。講演会後の懇親会では医師、看護師、相談員、事務員等が多数参加し、情報交換、親交を深めました。

今後も浅ノ川病院グループは地域医療を支える皆様と連携を密にし、地域医療の充実に努めます。



大西 寛明病院長



小市 勝之理事長



高田 智司医師



筒井 泰史医師



中田 光俊教授

## 行事レポート

### 「平成26年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」開催

当院では救急隊と病院の連携を強化し、救急医療の向上を図るため、救急症例検討会を定期的に開催しております。平成26年12月2日（火）当院で「平成26年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」が開催され、石川県、富山県の救急隊員、当院職員あわせ約100名が出席しました。

当院外科 尾島英介医師からの特別講演「腹部救急疾患について～当院での経験症例を中心に～」をはじめ、「熱中症」「脳梗塞」「子宮外妊娠、出血性ショック」について講演症例発表が行われました。「貴重な手術映像を拝見できた」「病態がわかりやすかった」「搬送時の判断について大変参考になった」という感想や「いつもスムーズな受入れに感謝している」とのお言葉を頂いたほか、地域の救急医療に対する情報、意見交換も行いました。

今後も地域の救急隊と「顔の見える連携」を推進し、よりよい救急医療を地域に提供できるよう努めていきます。



### 新入職員紹介



よろしく  
お願いします！

各部に配属された  
フレッシュなメンバーを  
紹介します！



職種  
作業療法士  
配属先  
リハビリテーションセンター

おおいわ ちえ  
大岩 千恵

Q1：ご自身の長所を教えてください。  
相手の気持ちをくみとるために、しっかり目を見て話すところ

Q2：座右の銘を教えてください。  
なんとかなる！

Q3：今後の抱負を教えてください。  
認められるOTになる！



職種  
作業療法士  
配属先  
リハビリテーションセンター

しんたに はるか  
新谷 遥香

Q1：ご自身の長所を教えてください。  
相手のことを思いやる母性があるところ

Q2：座右の銘を教えてください。  
自分らしく

Q3：今後の抱負を教えてください。  
患者さんを笑顔に!!最後まで生きがいを持って過ごせるようにリハビリの勉強を頑張ります



職種  
受付・会計  
配属先  
医事課

つかもと なつき  
塚本 菜月

Q1：ご自身の長所を教えてください。  
何事も前向きに考えられるところ

Q2：座右の銘を教えてください。  
一期一会

Q3：今後の抱負を教えてください。  
少しでも早く仕事を覚えられるように頑張ります

## 行事レポート

### 「第2回石川県てんかん医療研究会教育セミナー」開催

平成26年11月30日(日) ANAクラウンプラザホテルにて「第2回石川県てんかん医療研究会教育セミナー」を開催しました。

本セミナーは北陸のてんかん医療の充実と医師の育成を目的として、石川県てんかん医療研究会事務局である当院が昨年度より開催しております。当院のてんかん・機能外科部長の川村哲朗医師が会長を務め、第2回となる今回は北陸3県から地域医療に携わる医師、コメディカル約120名が参加しました。セミナーでは国内外の講師から、てんかんの診断、小児てんかんと発達障害、薬物療法、外科治療、自動車運転をめぐる諸問題などについて講演がなされました。

今後も当院はてんかん医療の充実と臨床研修の推進に努めていきます。



### 浅ノ川総合病院 院友会 忘年会開催

昨年末、総勢300名を超える職員が集い、ホテル金沢で開催されました。カラオケあり、抽選会ありといろいろあつた一年を皆でろうと同時に、来年も地域医療の更なる貢献を決意する会となりました。



### 編集後記



2015年2月1日時点で、あと41日。

このカウントダウンは何を指しているかわかりますか?

そう! 石川県民が待ち望んでいる北陸新幹線開通です!!

『カウントダウン』という行為は、何か待ち遠しいことがあるときに、その嬉しさを表現するのによく使いますよね。昔から、もういくつ寝るとお正月♪とか言いますし。

締め切りとか期限という表現をすると少し減入ることもありますが、あとどのくらいでイベントが起ころのか?と期待するこの表現はとても前向きでいいことだと思いますか?

私、あさのちゃんがカウントダウンしたいことはたくさんあります、一先ず『かがやき』に乗りたいかなあ。病院からもその姿を見ることができ、コラボレーションとかができたらいいですよね。

日本中のみなさんをここ金沢に迎えて行われる楽しいイベントがたくさんありますで、今からワクワクしています。2015年がみんなにとって良い1年になりますように!!

今年もよろしくお願ひします。

今年は年賀状が  
届きました!!



ありがとうございます!

### 問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス : [kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp](mailto:kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp)